

平成30年 2月22日
九州地方整備局
長崎河川国道事務所

ほんみょうがわ

本明川ダム関連付替道路着工式を開催します。

○本明川ダム建設により付替が必要となる県道富川溪線及び市道大渡野・古場線他の工事に初めて着手するにあたり、下記のとおり「着工式」を開催します。

記

- 1 日 時：平成30年2月25日（日） 10：30～11：25
- 2 場 所：本野^{もとの}ふれあい会館（多目的ホール）
（所在地：諫早市上大渡野町2番地1）
- 3 主 催：国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所
- 4 内 容：来賓挨拶、鍬入れ 等

◆報道関係の皆様へ

- ・当日の取材・撮影は可能です。会場では、係員の指示に従い取材してください。

■問い合わせ先： 国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所
電話（代表） 095-839-9211

【総 括】 技術副所長 ひらい 平井 新太郎

【式典関係】 総務課長 たけした 武下 のぶあき 伸章

【事業関係】 開発工務課長 なかやま 中山 まさふみ 雅文

E-mail:nagasaki@qsr.mlit.go.jp URL:http://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/

ほんみょうがわ

本明川ダム関連付替道路着工式 会場案内図

■日 時:平成30年2月25日(日) 午前10時30分～11時25分

■場 所:本野ふれあい会館多目的ホール(諫早市上大渡野町2番地1)

位置図



詳細図



本明川ダム建設事業概要

1. ダムの目的

1)洪水調節

本明川ダムは、本明川水系河川整備基本方針(H12.12 策定)に基づく洪水調節施設であり、基準地点(裏山)における基本高水のピーク流量(諫早大水害相当)1,070³/sを、本明川ダムにより290³/sの洪水調節を行い、計画高水流量780³/sに軽減し、洪水被害の防止又は軽減を図ります。

2)流水の正常な機能の維持

渇水時の良好な河川環境の維持と、ダム下流の既得農業用水が安定的に取水できるよう、本明川の流量を確保します。(※公園堰(直下流)で概ね0.25m³/sを確保)

2. ダムの建設予定地



3. ダム等の諸元

■型 式: 台形 CSG*ダム

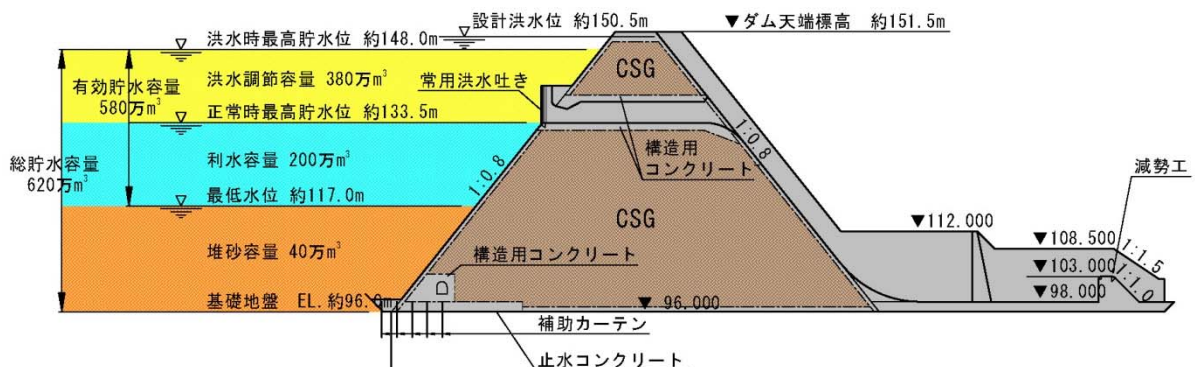
■集水面積: 約 8.9km²

■堤 高: 55.5m(諫早市役所は約 47m)

■総貯水容量: 約 620 万 m³(トランスコスモススタジアム長崎約10杯分)

■堤頂長: 約 340m

※CSG: Cemented Sand and Gravel の略 (セメントで固めた砂礫のこと)



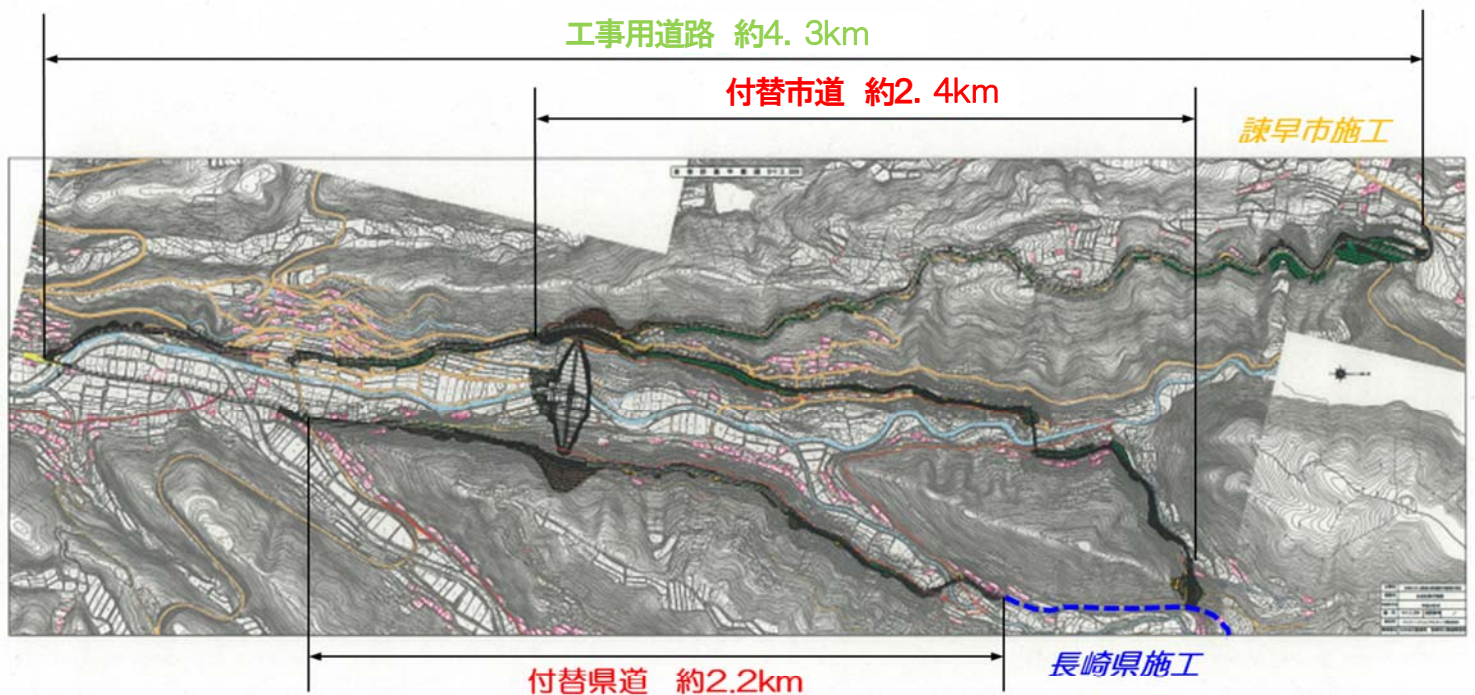
4. ダムの経緯

- 平成 2年 実施計画調査着手
- 平成 6年 建設事業着手
- 平成 12年 「本明川水系河川整備基本方針」策定
- 平成 17年 「本明川水系河川整備計画」策定
- 平成 20年 本明川ダム環境影響評価「方法書」の公告及び縦覧
- 平成 21年 本明川ダム環境影響評価「準備書」の公告及び縦覧
検証の対象とするダム事業に選定
- 平成 25年 検証結果に基づき新規利水を除き事業継続とする国土交通省方針が決定
- 平成 26年 本明川ダム環境影響評価「評価書」の公告及び縦覧
- 平成 28年 本明川水系河川整備計画(変更)の策定(H28.3.29)
- 平成 29年 本明川ダム建設事業に伴う損失補償基準書の調印(H29.2.19)

5. 道路の概要

本明川ダム建設に伴い水没する県道富川溪線、市道大渡野古場線他の付替道路、及び工事のための重機や材料等を搬入運搬するための工事用道路を整備するものです。

整備後は、地域の生活環境の向上や富川溪谷、五百羅漢等へのアクセス向上による観光集客数アップ等が期待されます。



図：付替道路・工事用道路の計画図

報道機関の皆様へ

取材にあたってのお願い

本明川ダム関連付替道路着工式は公開で行いますが、進行を円滑に行うため取材にあたっては、下記事項についてご協力いただきますようお願いいたします。

記

1. 受付名簿に所属名、氏名を記載のうえ、係員の指示に従って入場してください。

取材に際しては、腕章等の着用をお願いします。

- ・ 受付時間：平成30年2月25日（日） 10:00～10:25

- ・ 受付場所：本野ふれあい会館 入口付近

2. 会場内では、「報道関係者席」と表示された席にご着席ください。
3. 会場内でのカメラ撮影は、係員の指示に従ってください。
4. 会場の都合により、会場内で電源をとることはできません。パソコン等を使用される場合は、バッテリー等をご持参願います。
5. 当日の取材（問い合わせ）の窓口は、以下のとおりです。着工式中（式の前を含む）に出席者へ直接取材することはご遠慮ください。

窓口：平井技術副所長、立花用地対策官

6. その他、取材にあたっては、係員の指示に従ってください。